

## 2 「静と動」が調和した生涯学習拠点（図書館）の整備による多様な学びの場の充実

生涯学習拠点（図書館）として、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能を併せ持つ複合交流拠点（まちのステーション）を整備します。

図書館の老朽化への対応や蔵書の充実、適切な図書の入替え等が必要な状況を踏まえるとともに、利用者の要望等を取り入れながら、整備を進めるものです。

図書館の今後の方向性として、従来の学生、大人、高齢者等が、読書や学習で利用し、長く滞在できる静かな環境に加えて、乳幼児期の子どもの読書習慣を形成するために、小さな子どもを連れた保護者等が、周りに気兼ねなく安心して利用できる環境が必要です。

そのために、図書館に子ども広場や子育て支援センターなど子育て支援機能を有する施設を併設し、学生、大人、高齢者等が長く滞在できる静かな環境と、子どもの遊び場と子育ての相談ができ、親子で利用しやすい空間が共存する「静と動」が調和する複合交流拠点として、図書館を整備することにより、多様な学びの場の充実に努めます。

### 【生涯学習活動の状況及び目標値】

生涯学習活動の指標	平成26年度	平成30年度	令和6年度
まちのステーション整備	—	—	事業化
図書館利用人数	228,855 人	241,856 人	250,000 人
図書貸出数	261,491 冊	287,152 冊	300,000 冊

## 3 総合運動公園の整備による生涯スポーツ・レクリエーション活動機会の拡大

平成23年から整備を進めている総合運動公園について、整備計画に基づき、令和6年度完成を目指し、南ブロックの運動広場、野球場等の整備を進め、生涯スポーツ・レクリエーション活動機会の拡大に努めます。

### 【生涯学習活動の状況及び目標値】

生涯学習活動の指標	平成26年度	平成30年度	令和6年度
市のスポーツ施設利用者延べ人数	537,883 人	575,625 人	620,000 人

## 3 体系化での分類

この施策体系では、大分類・中分類・小分類という形で、3つのレベルを設定し、以下のように位置づけます。

大分類（基本目標）	体系を構成する4つの基本目標を、大分類に位置づけます。
中分類（学習課題）	大分類（4つの基本目標）をさらに学習課題別に整理し、施策の方向性を具体的に例示したものです。
小分類（実践目標）	中分類（学習課題）をさらに実践目標に整理し、具体的な内容を伴った諸事業に分類したものです。